

現千葉県議会議員



岡村やすあき

県も乳幼児医療費の助成拡大

一步、二歩、三歩、またまた前進 !!

福祉2 少子化対策

乳幼児医療費助成 就学前まで拡大検討

一步目

市民の署名運動から始まる

昨年二月、県議会予算委員会において、岡村やすあき県議が、「乳幼児の医療費」を取り上げ、「医療費の助成は、子どもの命や健康に直結するもので、子育て支援のなかでは重要なものである。現在、三歳未満を対象としている通院については、就学前児童までを対象にするべきである。」と要望しました。

岡村県議は、市内に、「議会報告レポート」を配布しました。その内容を読んで強く共感され、岡村県議に電話をしてきた方がいらっしやいました。めいわ地区の三人の子どもを持つお母さんです。

そのお母さんと岡村県議が協力し合って「乳幼児医療費助成の充実を求める請願」の署名運動が始まりました。たくさんのお父さんやお母さんも署名運動に参加してくださいました。一ヶ月の間に七九五二名の署名が集まりました。その請願署名を、市議会に提出しました。

二歩目

市議会では、全会一致で採択

請願署名は、高橋絹子議員が紹介議員となって、市議会に提案され全会一致で採択されました。

県議会でも採択される

紹介議員は岡村泰明議員

昨年九月の県議会においても、岡村泰明議員が紹介議員となって提案し、全会一致で、請願が採択されました。

三歩目

高橋市長、八月から実施を表明

高橋市長は昨年十二月議会において、「今年八月からの実施を目ざす」と表明しました。

高橋市長、岡村県議に県の助成拡大を要請

四歩目

県一〇月から三歳に引き上げ

二月の県議会において、白戸副知事は、昨年九月議会の採択を受け、今年一〇月から、対象年齢を現行より一歳引き上げて三歳までとすることを表明しました。これに要する予算は約三億円となる予定です。

五歩目

県では、二〇〇八年には就学前まで拡充

また、県では、平成二十年度から、〇歳から六歳までの就学前までの子どもの医療費を対象にして、市町村の支出の二分の一を負担する考えを示しました。予算は、約二〇億円位と見込まれています。

これが実施されれば、県と市の負担が半々となり、今年八月から実施される四街道市の就学前までの医療費の助成費が半減されることとなります。

今回の医療費助成拡大の成果は、市民と岡村県議、高橋市長、市議会の連携が生み出したものであります。

